

2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年1月7日

上場会社名 株式会社コジマ
 コード番号 7513 URL <https://www.kojima.net/corporation/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中澤 裕二

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 専務執行役員 (氏名) 荒川 忠士
 経営企画本部長

TEL 03-6907-3113

四半期報告書提出予定日 2021年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の業績(2020年9月1日～2020年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	69,279	6.6	2,057	120.9	2,079	112.6	1,377	57.0
2020年8月期第1四半期	64,987	13.0	931	335.9	978	253.0	877	619.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	17.75	17.73
2020年8月期第1四半期	11.30	11.30

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	120,125	54,464	45.3
2020年8月期	128,190	53,999	42.1

(参考)自己資本 2021年8月期第1四半期 54,435百万円 2020年8月期 53,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年8月期	—				
2021年8月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	139,500	4.7	1,700	1.1	1,700	△5.7	1,100	△0.4	14.17
通期	288,300	0.0	5,000	△30.8	4,900	△33.6	3,500	△42.2	45.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期1Q	77,912,716 株	2020年8月期	77,912,716 株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	295,119 株	2020年8月期	300,919 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期1Q	77,612,243 株	2020年8月期1Q	77,611,797 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(持分法損益等)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2020年9月1日から2020年11月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下「本感染症」という)の影響により厳しい状況にあります。個人消費は総じてみれば持ち直しているものの、本感染症による影響で、企業収益は大幅な減少が続いており、雇用情勢は弱い動きとなっております。

当家電小売業界における売上は、本感染症による影響が生じております。商品別にはパソコン周辺機器やゲームのほか、加湿器や空気清浄機が牽引した季節家電が好調、またテレビ等が堅調に推移いたしました。一方、この他の商品は、おしなべて低調に推移いたしました。

このような状況の中、当社は、「お客様第一主義を実践し、最高のサービスをお客様に提供することで社会に貢献する」の経営理念のもと、「お客様の暮らしを『より快適に』『より便利に』『より楽しく』します。くらし応援コジマ」をスローガンに掲げ、ビックカメラとの統合効果を最大限に発揮し、企業価値の向上に取り組んでおります。また、本感染症拡大防止のために、お客様と従業員の安全確保を最優先に考え、マスク着用、丁寧な手洗い・消毒、従業員の出勤時の検温、店内消毒、レジ・カウンター等への飛沫感染防止シート設置、ソーシャルディスタンスの確保などの対策を継続して実施しております。当社は、お客様の住まいに近く、くらし関連の不可欠なサービスを提供し、地域のお客様の“必要”にお役に立てるよう、店舗運営に取り組んでおります。

ビックカメラグループの幅広い取扱い商品を強みに、品揃えの拡充や専門性の向上に取り組み、モノからコト軸への提案を進め、更には、お客様に体験価値や満足感を得ていただける展示・接客の充実に努めております。非家電商品の導入につきましては、2020年10月17日に「コジマ×ビックカメラ 大東店」で酒類の販売を開始しております。また、コロナ禍で店頭実演や体験・体感イベントの実施が困難な状況下においても、当社従業員が、自ら商品の便利さ・快適さをお客様にご説明するための動画コンテンツを作成し、店頭にて配信するなど、引き続き店舗の魅力向上に努めております。

さらに、デジタル商品の買取・購入後のサポートを充実させた「サービスサポートカウンター」の設置店舗拡大や、社員が直接お客様宅を訪問しお困り事を解決する「コジマくらし応援便」の対象エリア拡大・サービスメニュー拡充を進めるとともに、連携を強化し、店舗のみで行っていたサービスをお客様宅でも行えるよう努めております。これらの地域密着のサービスをより一層強化し、地域の皆様からもっとも身近で愛され必要とされる店舗づくりに取り組んでおります。また、家の中で過ごす時間が長くなったことにより需要が増えた、テレワークやオンライン授業、ご家庭でのくらしに役立つ商品・サービスを充実させるなど、お客様の変わりゆくニーズにいち早く気づき、素早く対応し、少しでも快適になっていただくためのご提案を進めております。

2020年10月には「dポイント」の利用を全店舗においてスタートさせ、お買物がもっと便利になる仕組みづくりも進めております。

店舗展開におきましては、2020年11月21日に「コジマ×ビックカメラ イオンタウンふじみ野店」(埼玉県ふじみ野市)を開店した一方、同市内の「コジマ×ビックカメラ 上福岡店」など2店舗を閉店し、2020年11月末現在の店舗数は142店舗となりました。

また、ご来店いただいたお客様の声を店舗づくりに反映し、更なる進化を目指すとともに、異業種とのコラボ店舗など、新たな店舗モデルの構築や出店形態の多様化に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は692億79百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は20億57百万円(前年同期比120.9%増)、経常利益は20億79百万円(前年同期比112.6%増)、四半期純利益は13億77百万円(前年同期比57.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ80億64百万円減少(前事業年度末比6.3%減)し、1,201億25百万円となりました。主な要因は、売掛金の増加25億42百万円、商品の増加51億91百万円があったものの、現金及び預金の減少144億37百万円によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ85億30百万円減少(前事業年度末比11.5%減)し、656億61百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加34億96百万円があったものの、前受金の減少14億61百万円、未払消費税等を含むその他流動負債の減少27億57百万円、長期借入金の減少70億14百万円によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ4億65百万円増加(前事業年度末比0.9%増)し、544億64百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当(純資産の減少)9億31百万円があったものの、四半期純利益(純資産の増加)13億77百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月8日付決算短信発表時に公表いたしました、第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,144	15,706
売掛金	13,721	16,264
商品	36,990	42,182
貯蔵品	148	138
前払費用	1,185	1,151
未収入金	2,128	1,516
その他	549	567
貸倒引当金	△212	△214
流動資産合計	84,656	77,312
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,128	8,951
土地	8,605	8,605
その他（純額）	1,477	1,460
有形固定資産合計	19,212	19,017
無形固定資産		
その他	1,096	1,048
無形固定資産合計	1,096	1,048
投資その他の資産		
前払年金費用	2,292	2,305
繰延税金資産	8,921	8,498
長期前払費用	471	450
差入保証金	11,471	11,424
その他	122	121
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	23,226	22,747
固定資産合計	43,534	42,813
資産合計	128,190	120,125

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,860	22,357
1年内返済予定の長期借入金	4,441	4,292
1年内償還予定の社債	200	200
リース債務	151	131
未払金	5,390	5,214
未払法人税等	1,175	385
前受金	5,780	4,318
賞与引当金	1,115	1,737
ポイント引当金	2,199	2,092
店舗閉鎖損失引当金	278	298
資産除去債務	341	417
その他	4,721	1,963
流動負債合計	44,657	43,409
固定負債		
社債	800	700
長期借入金	21,732	14,718
リース債務	471	444
商品保証引当金	496	446
店舗閉鎖損失引当金	467	430
資産除去債務	4,323	4,269
その他	1,242	1,242
固定負債合計	29,533	22,251
負債合計	74,191	65,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,975	25,975
資本剰余金	15,913	15,913
利益剰余金	12,252	12,698
自己株式	△155	△152
株主資本合計	53,985	54,435
新株予約権	13	29
純資産合計	53,999	54,464
負債純資産合計	128,190	120,125

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	64,987	69,279
売上原価	47,141	49,383
売上総利益	17,845	19,896
販売費及び一般管理費	16,914	17,838
営業利益	931	2,057
営業外収益		
受取利息	15	10
受取手数料	14	10
受取保険金	32	38
店舗閉鎖損失引当金戻入額	13	—
その他	13	8
営業外収益合計	89	67
営業外費用		
支払利息	28	25
社債利息	—	0
支払手数料	6	7
その他	7	12
営業外費用合計	42	45
経常利益	978	2,079
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	10	47
特別損失合計	10	47
税引前四半期純利益	967	2,032
法人税、住民税及び事業税	90	231
法人税等調整額	—	423
法人税等合計	90	654
四半期純利益	877	1,377

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症(以下「本感染症」という)について、収束時期や再拡大の可能性等を正確に予測することは困難ではありますが、当社は、外部情報等を踏まえ、2021年8月期中には当該影響が正常化していくとの仮定を置き、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症の経営環境への影響は不確定な状況にあり、状況が変化した場合には、当社の財政状態及び経営成績等に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社には、音響映像商品・家庭電化商品・情報通信機器商品等の物品販売業部門以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

品目別売上高

品目別		当第1四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	1,414	2.0	△15.1
	テレビ	6,385	9.2	17.0
	レコーダー・ビデオカメラ	1,644	2.4	10.0
	オーディオ	1,037	1.5	△2.3
	その他	1,763	2.6	14.7
	小計	12,246	17.7	9.2
家庭電化商品	冷蔵庫	6,071	8.8	△0.4
	洗濯機	5,089	7.3	5.2
	調理家電	4,337	6.3	7.5
	季節家電	8,697	12.5	27.5
	理美容家電	2,826	4.1	8.4
	その他	5,909	8.5	△0.9
	小計	32,932	47.5	8.5
情報通信機器商品	パソコン本体	5,019	7.2	2.6
	パソコン周辺機器	2,463	3.6	18.7
	パソコンソフト	197	0.3	△11.4
	携帯電話	5,102	7.4	△7.8
	その他	4,171	6.0	4.9
	小計	16,955	24.5	1.5
その他の商品	ゲーム	2,482	3.6	24.2
	時計	159	0.2	3.3
	スポーツ用品	310	0.5	△2.7
	玩具	708	1.0	13.6
	医薬品・日用雑貨	418	0.6	5.5
	工事（住設含む）	1,218	1.8	△9.2
	その他	1,416	2.0	4.2
	小計	6,714	9.7	8.4
物品販売事業		68,848	99.4	6.8
その他の事業		430	0.6	△16.6
合計		69,279	100.0	6.6

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。